



手足口病について

主に乳幼児にみられる疾患です。手のひら、足の裏、口の中に発疹と水疱を特徴とするウイルス感染症です。一般的には、軽い発熱、のどの痛みで始まります。

ほとんどの人が、1週間から10日程度で自然に治りますが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などが起きることがありますので、持続する発熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意が必要です。

原因は？

いくつかのウイルスで起きます。一般的なのはコクサッキーウイルスA16、エンテロウイルス71です。

潜伏期間は？

3～6日が多いと報告があります。

感染経路は？

鼻やのどからの分泌物や便に排出されるウイルスが、経口・飛沫・接触などの経路により人から人に感染します。

治療法は？

特異的な治療法はありません。それぞれの症状に対する対症療法です。

口の中の発疹のために経口摂取ができないときには、脱水に注意し水分摂取を心がけましょう。

予防方法は？

ワクチンはありません。

手洗いの励行。主な症状が消失した後も3～4週間は便中にウイルスが排泄されることがありますので、排泄後、おむつ交換後の手洗いは大切です。



